

## イヌワラビ (犬蕨)

名前の意味<sup>いみ</sup>：ワラビ<sup>いみ</sup>ににて、食べられないから。犬という言葉は、  
にているけれども、役に立たない植物によくつけられる。

分類：シダ類、メシダ科、メシダ属

好きな場所<sup>ひかげ しめ</sup>：日陰<sup>ひかげ</sup>の湿った道ばた、庭

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地<sup>じせい</sup>：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：地面から出る細かく切れ込んだ葉、裏にU字形の膜<sup>まく</sup>がついて  
いることがある。この膜<sup>まく</sup>の裏<sup>うら</sup>に胞子<sup>ほうし</sup>がついている。

胞子<sup>ほうし</sup>の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数：花はない

葉のある時期：4—11月

見分け方：メシダ属のシダは多いが、庭に生えるものは他にない。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度<sup>そうごうなんいど</sup> ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)